「主婦が幸せに暮らせる街」ランキングに碧南市が東海3県内第1位に

今年5月28日に創刊された主婦向け雑誌「ａｅｎｅ（アイーネ）」（学研パブリッシング発行の20代後半から30代前半のモノ選びに厳しい目を持つアラサーママ向けの月刊誌）が行った「全国主婦の幸せ度調査」により導き出された「主婦が幸せに暮らせる街」ランキングにおいて、なんと碧南市が東海3県内（愛知県、三重県、岐阜県）で第1位に輝きました。

この調査は、「暮らし」（住んでいる家、買い物環境など）、「家族」（世帯主の年齢が若い傾向が強いか、家族との関係において感じている幸せ度）、「お金」（収入や家具・家事用品に使うお金、外食に使うお金など）、「食事・健康」（食事・食卓や健康に対してどれだけ幸せを感じているか）、「モノ・趣味」（自動車やシステムキッチンなどの保有度、自由時間や趣味に対して感じている幸せ度）の5つの指標を点数化（Ｈａｐｐｙ　Ｑｕａｌｉｔｙ＝ＨＱ指数）し、主婦が幸せに暮らせる街（市）をランキング化したものです。

結果、碧南市は全国では21位、東海3県では1位という結果となりました。碧南市の場合、5つの指標のうち、「家族」「食事・健康」「お金」の成績が高かったようです。いずれにしても、碧南市が過去から現在に至るまで行ってきた子育て、文化、教育、スポーツ、生涯学習など、各種施策、市民の皆様の生活習慣などが、評価された結果であり、碧南市の職員や市民にとっては、誠に喜ばしい限りです。

なお、「碧南市がＨＱ指数東海ナンバー1」になったことについて、6月11日㈬に東海テレビ（1チャンネル）スーパーニュース（毎週月～金曜日、16時49分～）の「まちかど調査隊」のコーナーで、約20分間に渡って放送されました。東海テレビの放送エリアである東海3県に対して、大いに発信できました。

今後も市民の皆様が幸せに暮らせる街の実現に向け、みんなで盛り上げてまいりましょう。

中高生等海外派遣学生決定

姉妹都市エドモンズ市へ

問合せ　地域協働課

市では、昭和62年よりアメリカ合衆国エドモンズ市へ、若い人たちの国際交流に対する理解と両市の親善を深めることを目的として、中高生などを派遣しています。

今年は碧南市からエドモンズ市へ中高生13人が８月６日㈬に出発し、現地の一般家庭でホームステイして19日㈫に帰国する予定です。

派遣メンバー（敬称略）

長田明莉（新川中３年）
齋藤詩帆乃（新川中３年）
清水莉彩（中央中３年）
白井ゆか（中央中３年）
石川結衣（南中３年）
石田未来菜（南中３年）
岡本和華（南中３年）
築山颯人（西端中３年）
鈴木聖怜（刈谷高１年）
杉浦順香（知立東高１年）
平井丈（知立東高２年）
黒田安佳里（碧南高３年）
大野恵実（桜花学園高３年）
藤浦一（引率）
栗谷本久美子（引率）